

保険適用価格一覧表(患者さま負担額)

検査

AMH検査料(6ヶ月に1回) 1,790円

人工授精

一般不妊治療管理料 750円

人工授精 5,460円

生殖補助医療

生殖補助医療管理料 900円

採卵費用

1)採卵基本料 9,600円

2)個数による加算

1個	7,200円
2-5個	10,800円
6-9個	16,500円
10個以上	21,600円

媒精費用

1)c-IVF 9,600円

2)顕微授精

1個	11,400円
2-5個	17,400円
6-9個	27,000円
10個以上	35,400円

※両方実施の場合は2-2.顕微授精代+4,800円

※TESE精子使用の場合は15,000円加算

(2024/5以前に凍結していたTESE精子の初回使用時のみ)

※卵子活性化を実施した場合は3,000円加算

新鮮精子調整費用

新鮮精子調整加算 3,000円

胚移植費用

1)新鮮胚移植 22,500円

2)融解胚移植 36,000円

3)アシステッドハッチング 3,000円

4)ヒアルロン酸含有培養液 3,000円

※先進医療:SEET法 39,910円

培養費用

1)受精卵培養料
(受精した数に応じて)

1個	13,500円
2-5個	18,000円
6-9個	25,200円
10個以上	31,500円

※先進医療:タイムラプス培養 33,000円

2)胚盤胞培養料
(胚盤胞培養に移行した数に応じて)

1個	4,500円
2-5個	6,000円
6-9個	7,500円
10個以上	9,000円

胚凍結費用

1)胚凍結保存管理料

1個	15,000円
2-5個	21,000円
6-9個	30,600円
10個以上	39,000円

2)胚凍結保存維持管理料 10,500円

※治療計画がある場合に限る

男性不妊症関連

1)精子凍結保存管理料 *下記以外は選定療養

TESE*組織 19,500円

高度乏精子症の射出精子 3,000円

2)精子凍結保存維持管理料 2,100円

TESE*組織/高度乏精子症の適応にて凍結かつ治療計画がある場合に限る

3)片側 Simple-TESE* 37,200円

4)両側 Simple-TESE* 74,400円

5)片側 Micro-TESE* 73,800円

6)両側 Micro-TESE* 147,600円

7)片側 顕微鏡下精索静脈瘤手術 37,500円

8)両側 顕微鏡下精索静脈瘤手術 75,000円

9)Y染色体微小欠失検査 11,310円

*TESE:精巣内精子採取術

先進医療の費用と対象について

先進医療は、自費診療の中でも例外的に保険診療と併用しても混合診療にならないと認められた医療です。適応と患者さまの希望、医師の判断に応じて実施いたします。

項目	対象	費用
タイムラプス培養	生殖補助医療を実施する方	33,000円
ERA	体外受精を実施し、反復して不成功の方	137,500円
SEET法	体外受精を実施し、反復して不成功の方	39,910円
EMMA/ALICE	慢性子宮内膜炎疑いの方 反復不成功、反復流産の方 難治性細菌性膣症の方	56,000円
内膜スクラッチ	体外受精を実施し、反復して不成功の方	30,300円
子宮内フローラ	体外受精を実施し、反復して不成功の方、 慢性子宮内膜炎疑いまたは難治性細菌性膣症の方	44,000円
ヒアルロン酸精子選別ICSI(PICSI)	体外受精を実施し、反復して不成功の方 軽度の男性不妊の方（いずれも顕微授精を実施する方）	22,000円
膜構造を用いた生理学的精子選別（スパームセパレータ）	体外受精を実施し、反復して不成功の方 軽度の男性不妊の方（いずれも顕微授精を実施する方）	25,000円
二段階胚移植 * 高輪院のみ	体外受精を実施し、反復して不成功の方	新鮮胚移植 75,000円 融解胚移植 120,000円

通院スケジュールと各費用の支払い時期



高額療養費について

高額療養費制度というのは、医療機関や薬局の窓口などで支払った額が、同じ月内で一定の自己負担限度額を超えた場合、その超えた金額が払い戻される制度です。

つまり、この制度を活用いただくことで、患者さまの実際の費用負担はより小さくなります。

詳細は以下のページでも確認いただけます。

なお、本制度の活用のみを目的とした治療計画の調整等は当院ではできかねます。

詳細の申請方法や適応等については、保険組合等により異なりますので、患者さまご自身にての加入されている保険者・保険組合に直接お問い合わせ下さい。

自己負担限度額

区分	項目	対象
ア	年収 1,160万円以上	252,600円+(医療費-842,000円)×1%
イ	年収 約770万円から1,160万円	167,400円+(医療費-558,000円)×1%
ウ	年収 約370万円から770万円	80,100円+(医療費-267,000円)×1%
エ	年収370万円未満	57,600円
オ	住民税非課税者	35,400円

多数該当

高額療養費として払い戻しを受けた月数が直近12か月間で3月以上あったときは、4月目から自己負担限度額がさらに引き下げられます

区分	項目	対象
ア	年収 1,160万円以上	252,600円+(医療費-842,000円)×1% → 140,100円
イ	年収 約770万円から1,160万円	167,400円+(医療費-558,000円)×1% → 93,000円
ウ	年収 約370万円から770万円	80,100円+(医療費-267,000円)×1% → 44,400円
エ	年収370万円未満	57,600円 → 44,000円
オ	住民税非課税者	35,400円 → 24,600円

